

## 論文投稿に際して提出された利益相反情報について

一般社団法人日本がん看護学会  
理事長 渡邊 眞理

論文投稿に際して提出された利益相反情報について、以下のような状況が明らかとなり、その原因を探り対策を講じておりますので、会員の皆様にご報告いたします。

### I. 現在の状況

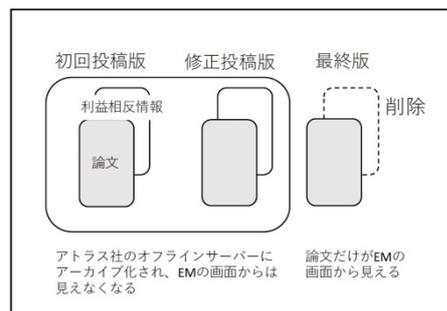
「利益相反事項に関する文書取扱い内規」の第10条及び第11条では、「学会誌論文発表者の利益相反情報は、論文発行時まで個人情報として厳重に保管・管理する」「保管期限を経過した学会誌論文発表者の利益相反情報は、削除・廃棄する」「不採用が決定した論文の利益相反情報は、不採用決定後、削除・廃棄する」となっています。しかし、2018年の査読・編集システム(Editorial Manager; EM)導入以来、システム上に98論文の利益相反情報が保管された状態であることが明らかになりました。さらに、採択となった最終版の論文からは利益相反情報の削除が可能なものの、システム上、それ以外の版(初回投稿版、修正投稿版)からは利益相反情報が削除できず、将来、EMの運用会社であるアトラス社のオフラインサーバーにアーカイブ化されてしまう状況が明らかとなりました。

### II. 原因

EMにはいくつかの投稿論文受付方法がありますが、2018年に導入した受付方法が、論文(回答書も含む)と利益相反情報等の追加情報が一連のPDF書類になってすべて「査読用ファイル」の中に入るという方法でした。システム上、このファイルに入ると、初回投稿版および修正投稿版からは利益相反情報が削除できません。

### III. 対策

1. 98論文の最終版から利益相反情報を削除しました。初回投稿版及び修正投稿版がアトラス社のオフラインサーバーにアーカイブ化されると、利益相反情報はEMの画面からは見ることができなくなります。



2. EMの投稿論文受付方法を変更しました。投稿者はいままでどおりに原稿をアップロードしますが、EM上、論文は「査読用ファイル」に、利益相反情報等の追加情報は「その他のファイル」に入るようにしました。「査読用ファイル」の内容は将来アトラス社のオフラインサーバーにアーカイブ化されますが、「その他のファイル」は「査読用フ

ファイル」がアーカイブ化されるときに自動で削除されます。これらの対応により、利益相反に関する条文に合致した管理ができるようになりました。